

2023年度 学校関係者評価

学校関係者評価委員 井上薫 鎌田果保 高橋徳庫 本間友里恵 安田光則

- ・とても努力して保育がすすめられたと感じている。また、1年間の研修の成果が保育の中に生かされている。
- ・キリスト教保育指針の改定版において、教育要領の改訂内容とどのように沿っているのか興味がある。来年度の学びに期待したい。
- ・年間テーマ『いっしょに』に基づいて1年間の保育がすすめられたと思う。「みんなの日」で繰り返された様子にあるように、子どもたちの自由な発想から始められたことが、それぞれの興味関心に沿って展開されていく保育は、とても良いと感じる。ドキュメンテーションについても、子どもたちや保護者、先生たちも目に留め、話題にしていることも、ここ10年程保育雑誌等では言われていることではあるが、なかなか保育の中に取り入れるのが難しい現状である中で、よく取り組まれていると感じる。
- ・こはんまつりの園庭の駐車が難しかった。園庭の駐車スペースでの1回目と2回目の保護者の入れ替えが大変だった。行事の計画において、保護者の駐車場利用への配慮が必要と感じる。
- ・様々な工夫をしていると感じているが、帰宅した子どもの水筒の中身があまり減っていないのは、水分を摂れているか不安。特に年齢の低い子どもたちは水分補給に注意してほしい。また、階段の上り下りの際、先生たちが一緒にいることではあるが、転落するなどの危険のないように気をつけて欲しい。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、それまでの様々な制限からどのようなことをどのように戻し、組み立てていくか検討しながらの1年間であったと思う。行事のみならず、普段の園での生活の中でも保護者や外部の人の出入りが活発となることは良いことではあるが、施錠や玄関対応等、今一度園への出入りについて慎重に対応してほしい。
- ・新しい視点で釧路に焦点をあてた保育活動は、子どもたちが自分たちの住んでいる街を知るとも良い機会であったと思う。
- ・子ども主体の保育が、しっかりと根付くように「みんなの日」などでのわくわくした保育活動をより展開して行って欲しい。
- ・保育の活動で、釧路の色々な所に連れて行って下さり、とても勉強になり、お友だちとも一緒に出掛けることができ喜んでいました。外遊びも多く伸び伸びと過ごせていると思います。「みんなの日」は特に楽しみにしていました。縦割り保育の所も多いと思うので、どのような頻度で行っていたかは存じ上げませんが、是非、継続的に行なっていただけると良いかなと思います。
- ・ぺんぎん組の連絡帳で、自由なノートではなく、睡眠・食事・機嫌・排便など、項目が最初から記載されているものに、自宅での様子・園での様子など、それぞれ一目でわかると先生にも状況が分かっていただけで、保護者も○×△など書いて伝えることができるので良いかなと思いました。（先生も文書で書くより、早く簡潔に書くことができるかなと思います）1・2歳児は本人に聞いてもほとんど分からないので、生活面での伝達があると良いかなと思いきさいさせていただきました。